



## 有機 EL 照明の市場投入に向けて 世界に先駆けて塗布型ロール・ツー・ロール方式のパイロットラインを建設

2009年11月13日

コニカミノルタホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：松崎 正年、以下コニカミノルタ）は、環境・エネルギー分野における新事業の一つとして有機 EL 照明の開発を進めています。このたび東京都日野市にある事業所内に世界に先駆けて塗布型ロール・ツー・ロール方式のパイロットラインを建設いたしますのでお知らせいたします。本パイロットラインは、本格量産に向けて生産技術を確認し、限定販売をするための設備です。今月着工し、2010年秋に完成する予定で、2010年度内に商業化を目指します。投資規模は約35億円です。

コニカミノルタは、2007年3月に有機 EL 照明の開発と商業化を加速し、2010年度内に市場投入を目指すため、米国のゼネラル・エレクトリック カンパニーと戦略的提携を結びました。提携に先立ち、コニカミノルタは、2006年6月には、照明用途に適した1000カンデラ/m<sup>2</sup>の輝度および64ルーメン/ワットという世界最高の発光効率を維持しつつ、発光寿命が約1万時間という実用化レベルの白色有機 EL の開発に成功しました。

開発に当たっては、写真フィルムやレンズの開発で培われた材料技術、塗布技術、多層膜設計技術や光学設計技術などが活かされています。今回のパイロットラインでは、独自で設計した塗布型ロール・ツー・ロール方式の設備により、今までにない樹脂を基板としたフレキシブルな有機 EL 照明を提供することが可能となります。また、この方式は、本格的普及時にコスト優位性を達成する鍵となります。

有機 EL 照明は、曲げやすく、薄く、軽く、面光源という従来にない特長があり、次世代照明として注目されています。また、エネルギー効率がよく、熱くなりにくく、蛍光灯のように水銀を使用しないためリサイクルも容易で、環境的にも優しい技術です。さらに、紫外線を含まず面で発光するため目への刺激も少なく、人にも優しい技術です。

コニカミノルタは、コア技術が遺憾なく発揮できる環境・エネルギー配慮型製品として、有機 EL 照明をこれからの最も有望な新規事業の一つと位置づけています。

### <パイロットラインの概要>

- 建設地： 東京都日野市さくら町 1
- 設備： 既設の建屋内に設置
- 投資目的： 生産技術の確立および限定的な販売
- 投資規模： 約35億円
- 生産品目： 有機 EL 照明光源
- 生産方式： 塗布型ロール・ツー・ロール方式
- 着工： 2009年11月中旬
- 完成： 2010年秋（予定）

---

本件に関するお問い合わせ  
コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ  
TEL： 03-6250-2100